

ホホバ 頒布会便り



発行
毎月一回
(株)アイリス

二月に入り、暦の上では春とはいえ、実は一年で一番寒さの厳しいこの時期。屋外の寒さや室内の暖房等で、乾燥し弾力を失った肌は傷みやすくなっています。カサつき・かゆみ・肌荒れにも、しっかりと保湿してお肌を守りましょう。

乾燥の季節の お肌はデリケートに

空気が乾燥し、冷たい風がお肌を刺すこの季節、硬く乾いたお肌は弾力を失ってとてもデリケートになり、傷つきやすくなっています。するとお肌は、水分を保とうとして角質を厚くし、その結果ゴワゴワして硬いくすんだ肌になります。



お肌の乾燥対策には、まず傷んだお肌や、厚く硬くなってしまったお肌の修復が必要です。

ホホバで保湿して お肌を守りましょう

ホホバでたっぷり潤いを補給し、自らの自然治癒によってお肌が修復するまで、乾燥や刺激からお肌を守ってあげましょう。お顔はもちろん、乾燥性の肌ト

ホホバの持つ 魅力と安全性

ラブル全般にも是非、ご利用下さい。髪乾燥にももちろんおススメです。

ホホバの魅力は、保湿力や浸透性の高さ等、多岐にわたりますが、その中でも、特に誇れる魅力のひとつが、優れた安全性です。

ホホバは、私たち人間の体にとっても親和性が高く、医療の現場では、人工心臓の潤滑油にも使われている位ですから、安全性は折紙つき。

敏感肌の方やアトピーのお子様、お年寄りや赤ちゃんのデリケートなお肌にも、安心してお使いいただけます。

どうぞ、ホホバでご家族皆様のお肌を乾燥から守りましょう。

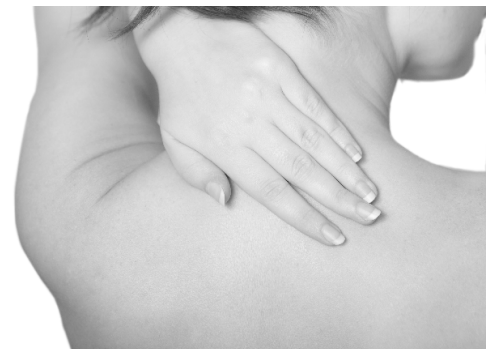
ホホバで全身しつとり 今年の冬こそ脱！乾燥！！

手足や身体がカサつく、背中やすねにかゆみが出る、お化粧品が乗らない・・・と、冬場の乾燥にお悩みの方にホホバでおススメの脱・乾燥法をご紹介します。

乾燥で肌は傷つきやすく シワやくすみも

乾燥して潤いが不足した肌は、弾力を失い硬くこわばってしまいます。すると表情シワが戻りづらくなり、シワが目立つ様に。

さらに、肌の水分を保つため、角質層が厚くなりくすんだ肌色に。放置すると、表情シワがくつきりと刻まれ、深いシワになってし



まいます。しっかりと保湿してお肌の潤いをキープしましょう。アロエローションをたっぷりお肌につけ、手の平で押し込む様にしっかりと水分補給した後、ホホバを顔全体に伸ばし、乾燥しやすい部分には重ね付けを。

唇にリップがわりに

冬場は唇が荒れ、皮がむけてしまったり、どんなにリップク

リームを塗っても、すぐまたカサカサに、という方には、ホホバがおススメです。

無味無臭ですから、食事の際も気になりませんし、すぐに浸透しますから、口紅を塗る時に邪魔になりません。



耳掃除にも

耳掃除で、強く掻き過ぎてしまい、肌を傷つけてしまった事はありませんか？

ホホバを綿棒につけて使えば、肌を守りスッキリ仕上がります。

乾燥性の痒みには

お風呂上りに

夜、布団に入ると、背中やわき腹・すね等が痒くなる。その原因は乾燥の可能性が大。熱すぎるお風呂・長湯を避け、体は優しく撫でる様に洗い、お風呂上りは肌が湿っている間にホホバをたっぷり塗りましょう。肌着・パジャマはコットンやシルク（木綿・絹）の物がおススメです。

**腕・足にお休み前の
ホホバマッサージ**

かゆみは出ないけれど、冬場は潤いが足りず、腕や足のお肌が乾燥気味、という方は、たっぷりのホホバで手足のマッサージを。

炊事の前後にも

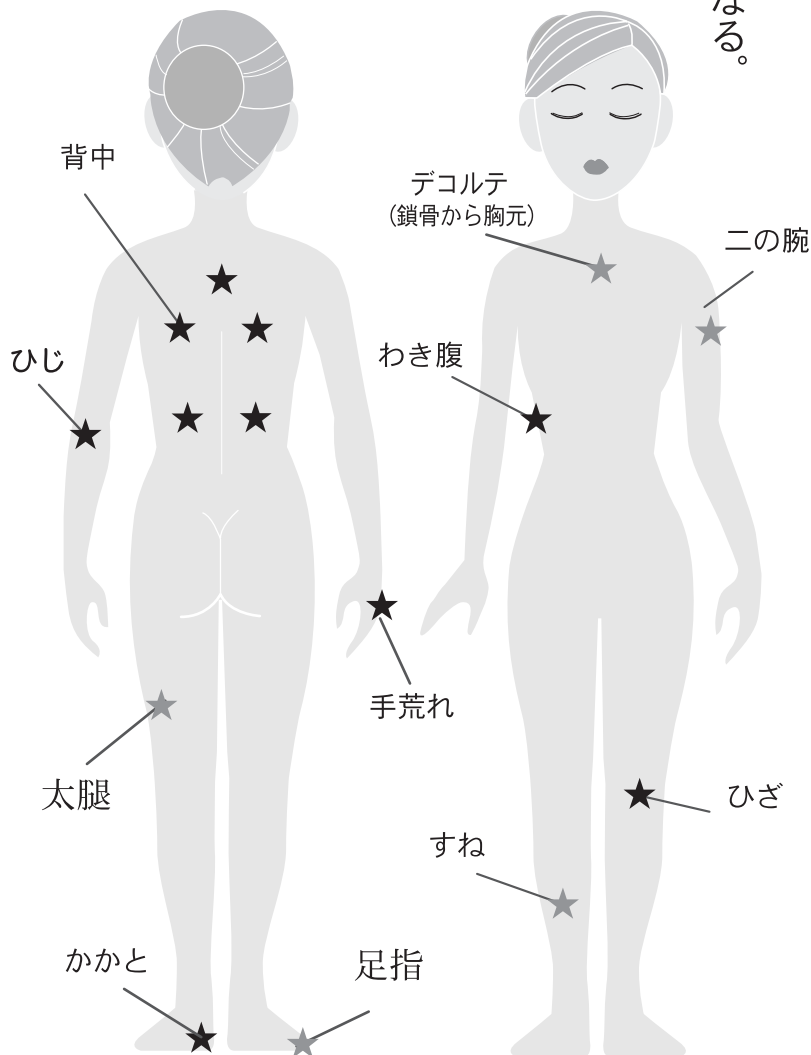
水仕事の後には、ハンドクリームを塗っていても冬はすぐにカサカサになってしまいますが、そんな時は、ホホバがおススメ。

- ★ たっぷり塗る
- ★ 薄くのばす

お口に入っても無害なので、炊事の合間でも安心です。

**たっぷり塗って
ぐっすり一晩で**

手荒れや、かかとのひび割れ、硬くなったお肌には、お休み前にたっぷりとホホバを塗って、



コットンやシルクの手袋・靴下をつけて眠りましょう。翌朝にはしっとり潤いが甦ります。

冬こそ大活躍のホホバですが、天然自然のため、低温になると(7℃位)固まります。暖かい場所で保管・ご利用下さい。